（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスめぐみ			
○保護者評価実施期間	2025年11月10日	～	2025年12月12日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	41	（回答者数）	31
○従業者評価実施期間	2026年1月5日	～	2026年1月19日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	8	（回答者数）	8
○事業者向け自己評価表作成日	2026年1月23日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	お子様のことを十分に理解し、特性等に応じた専門性のある支援ができるように努めている。	お子様の様子を理解し、特性に合わせたサポートができるよう努めています。毎日、全職員が参加して支援の振り返りを行っており、改善点や反省点等を次回の支援へ繋げています。 法人内の児童発達支援事業所での支援方法を引継ぎ、同じ支援ができるように努めています。	今後も日々の事前、事後ミーティングの他に職員会議や個別支援会議を行い、継続して一人ひとりの課題の共有や対応を話し合い、お子様一人ひとりに応じた支援を行います。
2	日頃からお子様の状況を保護者様と伝え合い、お子様の健康や発達の状況について共通理解ができるように努めている。	日々の支援を通じて、お子様の様子を把握し、連絡ノートで活動の様子をお伝えしています。また必要に応じてLINEを活用したり、送迎時やモニタリング時等に保護者様に様子をお伝えし、保護者様から得られた情報を次の支援に繋げています。	今後もご家庭との連携を大切にし、お子様の状況や課題について共通理解を深めていけるように努めます。また他事業所とも情報共有を行い、極力統一した支援ができるように努めていきます。
3	お子様と保護者様に共感的に支援ができように努めている。	日々の情報共有を通じて、また保護者様からご相談等があった場合は真摯に伺い、信頼を損なわないように、また極力、お子様や保護者様の目線になって支援が提供できるように努めています。	今後も本人、ご家族に寄り添えるように支援を行っていきますが、ご意見等がありましたら、電話やLINE等で忌憚なくお申し出で下さい。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のお子様と活動する機会を持てていない。	地域の学校から利用されているお子様が多い事と、放課後という時間の制限がある中で、他の児童施設との交流がどうしても持ちにくい状況があります。	時間の制約等があり、難しい課題ではありますが、他の児童施設との交流の機会を持つことができないか、引き続き検討していきます。
2	ご家族に対して家族支援プログラムやご家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が持てていない。 保護者会やイベント等の開催等により、保護者様やごきょうだい同士の交流の機会が設けられていない。	保護者様同士の交流の場（茶話会）の開催のお知らせをしていますが、保護者様に周知されていないという事はまだアピールが足らなかったと反省しています。また保護者様向けの研修の情報収集も十分にできていない事を反省しています。	今後も保護者様同士の交流の場（茶話会）の開催のお知らせや場所の提供を行います。また現状のサービス提供スタイルを維持しつつ、その中でイベントの実施ができないか検討します。
3	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を、保護者様に周知・説明されていない。また、発生を想定した訓練が実施されていない。	事故防止マニュアルや緊急時対応マニュアル等の各マニュアル等を策定していますが、それを保護者様向けに周知できていません。またお子様に参加頂いての火災避難訓練は行っていますが、その他の非常災害に備えた避難訓練ができていません。	今後も定期的に避難訓練を実施していきます。お子様も参加頂いての火災以外の非常災害訓練も実施に向けて検討していきます。